

事後評価書（期中の評価）

都道府県名	北海道	関係市町村	新ひだか町 ^{シニョウ}	期中評価実施の理由	④
事業名	直轄特定漁港漁場整備事業（直轄漁港整備事業）				
地区名	三石 ^{ミツイ}	事業主体	国（北海道開発局）		

I 基本事項

1. 地区概要					
漁港名（種別）	三石漁港（第3種）	漁場名	—		
陸揚金額	458 百万円	陸揚量	1,430 トン		
登録漁船隻数	84 隻	利用漁船隻数	98 隻		
主な漁業種類	サケ定置網、その他刺網、採藻	主な魚種	カレイ類、コンブ類、タコ類		
漁業経営体数	66 経営体	組合員数	73 人		
地区の特徴	三石漁港は、北海道日高地方の西側に位置し、サケ定置網、採藻等の沿岸漁業の流通拠点であり、周辺海域で操業する道内外のイカ釣り漁業の陸揚基地としても重要な役割を担っている。				
2. 事業概要					
事業目的	日高西部圏域の流通拠点漁港として、防波堤及び主要な陸揚岸壁の耐津波対策及び道路の液状化対策により、防災対策を強化し、大規模災害時の水産業の早期再開を図る。また、防波堤及び護岸の整備により、港内静穏度が向上し、漁業活動の安全性の向上を図る。さらに、道路及び用地の改良整備により、非効率な作業を解消し、漁業活動の効率化を図る。				
主要工事計画	島防波堤(改良)80m、西防波堤65m、西防波堤(改良)1式 ほか				
事業費	3,590百万円	事業期間	平成29年度～令和10年度		
既投資事業費	2,893百万円	事業進捗率(%)	81%		

II 点検項目

1. 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化					
	直前の評価	今回の評価	※別紙「費用対効果分析集計表」のとおり		
総費用（千円）	2,117,958	4,944,904			
総便益（千円）	2,895,253	6,808,084			
費用便益費(B/C)	1.37	1.38			
総費用の変更の理由					
資材価格や労務単価が大幅に上昇するとともに、現場条件等の変更が必要となった結果、総費用が増加した。					
便益算定項目について変更がある場合はその項目と変更の理由					
便益全体として、原単位の更新や避難対象漁船の増加により便益が増加した。					
その他費用対効果分析に係る要因の変化					
-3.5m岸壁の整備にあたり、利用者調整および施工期間の再検討により、事業完了年度を変更(令和8年→令和10年)した。					

2. 漁業情勢、社会経済情勢の変化	
(1) 漁業情勢及び漁港施設、漁場施設等の利用状況と将来見通し	
	計画策定後の漁業集落に関わる社会経済状況、自然状況の当初想定との相違と将来見通し 漁港利用漁業者数は、高齢化に伴う廃業等により減少傾向は見られるものの、地域の取組もあり後継者も確保されていることから、今後も同程度に推移すると見込まれる。
	漁業形態、流通形態について当初想定との相違と将来見通し ひだか漁業協同組合では、三石漁港における耐津波対策防災機能の強化を目指しており、津波来襲後における水産業の早期再開による水産物の安定供給を可能にするため、防災対策の強化に取組んでおり、今後も安定的な漁家経営が見込まれる。
	漁港施設等の利用状況について当初想定との相違と将来見通し 組合員数は減少傾向にあるものの、ブリのブランド化推進による付加価値向上など、地域全体で漁業振興に取り組んでいる状況にあり安定的な漁業経営体制が確保されていることから、今後も同程度の利用が見込まれる。
(2) その他社会情勢の変化	
	特になし。
3. 事業の進捗状況	
	令和7年度までに第1港区の静穏度向上対策に対応した西防波堤、島防波堤(改良)整備のほか、交通の円滑化・安全性の向上に対応した道路(改良)、用地(改良)の整備等が実施されており、事業進捗率は81%である。残事業として、越波対策を目的とした西防波堤(改良)の整備や、耐津波対策に対応した-3.5m岸壁(改良)の整備を令和10年度完了に向けて推進する。
4. 関連事業の進捗状況	
	特になし。
5. 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	
	1) 新ひだか町 三石漁港は、日高西部圏域の流通拠点漁港として重要な役割を担っている。しかし、今後想定される地震や津波などが発生した場合、漁業活動が長期間休止する懸念があり、水産業の早期再開のための対策が必要である。また、防波堤からの越波により漁船の安全な係留や操業準備等に支障が生じているため、漁業活動の安全性確保も必要である。 このため、三石漁港における継続した整備を強く要望する。
	2) ひだか漁業協同組合 三石漁港は、サケ定置網、採藻等の沿岸漁業の拠点であるほか、周辺海域で操業する道内外のイカ釣り漁業の陸揚拠点としても重要である。また、近年では、新たに管内に整備された水産加工施設や冷凍・冷蔵施設を通じて、東南アジア向けの水産物輸出拡大に取り組んでいるところである。 引き続き、これらの機能が確保されるよう、三石漁港の整備継続を強く要望する。
6. 事業コスト縮減等の可能性	
	西防波堤(改良)の基部側に設置されている消波ブロックを撤去し、港外側に設置する消波ブロックとして流用することで、事業コストの縮減に努める。
7. 代替案の実現可能性	
	該当なし。

Ⅲ 総合評価

三石地区直轄特定漁港漁場整備事業は、地元漁業者の安全かつ効率的な漁業活動に寄与するだけでなく、地域の基幹産業である水産業の維持や道内水産物の安定供給を確保するためにも重要な事業である。

事業の必要性・重要性に変化は無く、費用対効果等の投資効果も確保されていることから、事業計画の見直し及び事業の継続は妥当である。

引き続き、コスト縮減に取り組むとともに、適正な事業費および事業期間の管理に努める。

費用対効果分析集計表

1 基本情報

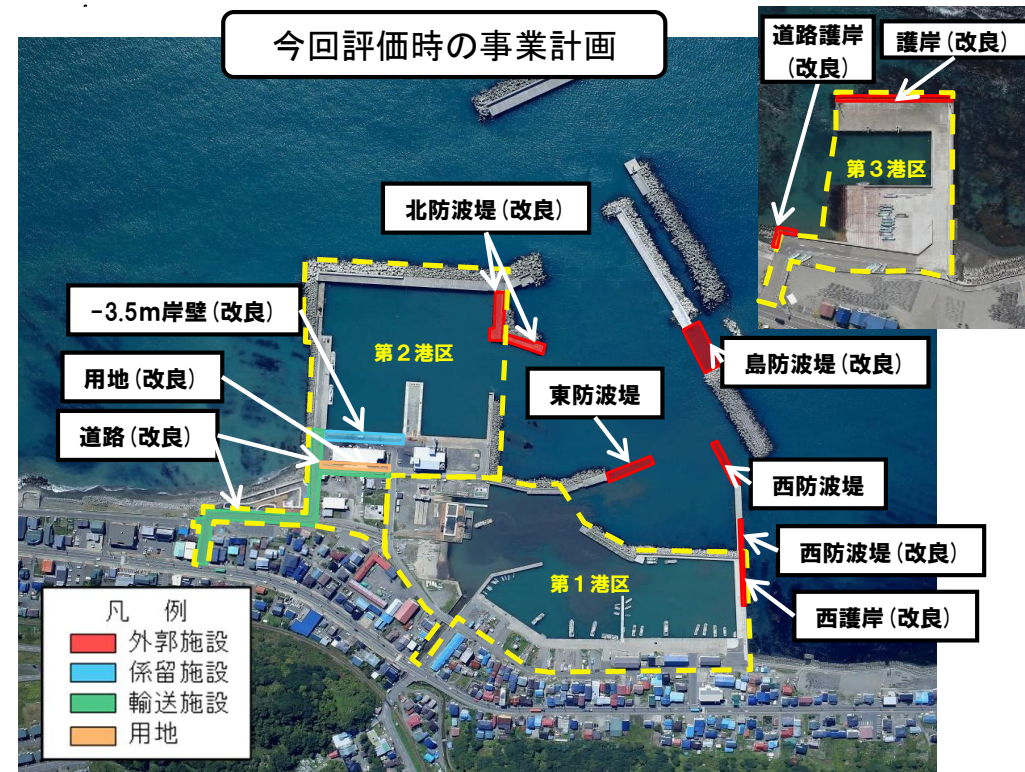
都道府県名	北海道	地区名	ミツシ 三石
事業名	直轄特定漁港漁場整備事業	施設の耐用年数	50年

2 評価項目

	評価項目		便益額（現在価値化）	
	便益の 評価項目 及び 便益額	水産物の生産性向上	①水産物生産コストの削減効果	863,053
②漁獲機会の増大効果			57,515	千円
③漁獲可能資源の維持・培養効果				千円
④漁獲物付加価値化の効果				千円
漁業就労環境の向上		⑤漁業就労環境の労働環境改善効果		千円
生活環境の向上		⑥生活環境の改善効果		千円
地域産業の活性化		⑦漁業外産業への効果		千円
非常時・緊急時の対応		⑧生命・財産保全・防御効果	462,099	千円
		⑨避難・救助・災害対策効果	5,425,417	千円
自然保全・文化の継承		⑩自然環境保全・修復効果		千円
		⑪景観改善効果		千円
		⑫地域文化保全・継承効果		千円
その他		⑬漁港利用者の利便性向上効果		千円
		⑭その他		千円
計（総便益額）		B	6,808,084	千円
総費用額（現在価値化）		C	4,944,904	千円
費用便益比		B / C	1.38	

- ・三石地域マリンビジョンと連携した漁村の活性化
- ・外来船利用による地域経済の活性化

直轄特定漁港漁場整備事業 三石地区 事業概要図 【整理番号2】



事業主体：国（北海道開発局）
 主要工事計画：島防波堤(改良)80m
 西防波堤65m、
 西防波堤1式 ほか

（直前評価時の事業費及び事業期間）
 事業費：2,552百万円
 事業期間：平成29年度～平成38(令和8)年度

（今回評価時の事業費及び事業期間）
 事業費：3,590百万円
 事業期間：平成29年度～令和10年度

三石地区 直轄特定漁港漁場整備事業の効用に関する説明資料

1. 事業概要

- (1) 事業目的 : 日高西部圏域の流通拠点漁港として、防波堤及び主要な陸揚岸壁の耐津波対策及び道路の液状化対策により、防災対策を強化し、大規模災害時の水産業の早期再開を図る。また、防波堤及び護岸の整備により、港内静穏度が向上し、漁業活動の安全性の向上を図る。さらに、道路及び用地の改良整備により、非効率な作業を解消し、漁業活動の効率化を図る。
- (2) 主要工事計画 : 島防波堤(改良)80.0m、西防波堤65.0m、西防波堤(改良)一式 ほか
- (3) 事業費 : 3,590百万円
- (4) 工期 : 令和29年度～令和10年度

2. 総費用便益比の算定

「水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン」(令和7年6月改訂 水産庁)及び同「参考資料」(令和7年6月改訂 水産庁)等に基づき算定。

(1) 総費用総便益比の総括

区分	算定式	数値
総費用(現在価値化)	①	4,944,904 (千円)
総便益額(現在価値化)	②	6,808,084 (千円)
総費用総便益比	②÷①	1.38

(2) 総費用の総括

施設名	整備規模	事業費(千円)
東防波堤	L= 50.0 m	85,000
西防波堤	L= 65.0 m	769,000
島防波堤(改良)	L= 80.0 m	1,328,000
北防波堤(改良)	1 式	94,000
西防波堤(改良)	1 式	500,000
西護岸(改良)	1 式	57,000
護岸(改良)	1 式	303,000
-3.5m岸壁(改良)	L= 90.0 m	308,000
道路(改良)	1 式	41,000
道路護岸(改良)	1 式	63,000
用地(改良)	1 式	42,000
計		3,590,000
維持管理費等		15,850
総費用(消費税込)		3,605,850
内、消費税額		314,007
総費用(消費税抜)		3,291,843
現在価値化後の総費用		4,944,904

(3) 年間標準便益

効果項目	区分	年間標準 便益額 (千円)	効果の要因
水産物生産コストの削減効果		46,750	<ul style="list-style-type: none"> ・外郭施設整備により係留、見回り及び上下架作業時間の短縮 ・外郭施設整備による漁船耐用年数の延長 ・外郭施設整備による航行作業時間の短縮 ・外郭施設等整備による漁船・クレーン移動時間の短縮 ・道路整備による積込作業時間の短縮 ・外郭施設整備による外来船の漁場までの航行時間の短縮
漁獲機会の増大効果		3,205	<ul style="list-style-type: none"> ・外郭施設整備による外来船の漁獲量の増加
生命・財産保全・防御効果		30,270	<ul style="list-style-type: none"> ・津波対策による漁業活動損失の回避及び施設復旧費の削減
避難・救助・災害対策効果		302,319	<ul style="list-style-type: none"> ・漁港整備による海難損失の回避
計		382,544	

(4) 費用及び便益の現在価値算定表

評価期間	年度	割引率	デフレーター	費用(千円)			便益(千円)					
				事業費 (維持管理費含む)	事業費 (税抜)	現在価値 (維持管理費含む)	水産物 生産コストの削減 効果	漁獲機会 の増大効果	生命・財 産保全・ 防御効果	避難・救 助・災害 対策効果	計	現在価値 (千円)
				①	②	③						
-9	H28	1.423	1.484	0	0	0	0	0	0	0	-	-
-8	H29	1.369	1.446	230,000	212,963	421,576	0	0	0	0	0	0
-7	H30	1.316	1.401	590,000	546,296	1,007,215	0	0	0	0	0	0
-6	R1	1.265	1.363	613,000	557,273	960,847	0	0	0	0	0	0
-5	R2	1.217	1.342	743,000	675,455	1,103,163	0	0	0	0	0	0
-4	R3	1.170	1.295	212,117	192,834	292,172	0	0	0	0	0	0
-3	R4	1.125	1.191	232,123	211,021	282,742	0	0	0	0	0	0
-2	R5	1.082	1.070	166,191	151,083	174,915	0	0	0	0	0	0
-1	R6	1.040	1.000	107,223	97,475	101,374	4,549	0	0	0	4,549	4,731
0	R7	1.000	1.000	111,230	101,118	101,118	4,871	0	0	0	4,871	4,871
1	R8	0.962	1.000	221,238	201,125	193,482	4,871	0	0	0	4,871	4,686
2	R9	0.925	1.000	171,238	155,671	143,996	4,871	0	0	0	4,871	4,506
3	R10	0.889	1.000	194,282	176,620	157,015	4,871	0	0	0	4,871	4,330
4	R11	0.855	1.000	317	288	246	46,750	3,205	30,270	302,319	382,544	327,075
5	R12	0.822	1.000	317	288	237	46,750	3,205	29,866	302,319	382,140	314,119
6	R13	0.790	1.000	317	288	228	46,750	3,205	29,468	302,319	381,742	301,576
7	R14	0.760	1.000	317	288	219	46,750	3,205	29,075	302,319	381,349	289,825
8	R15	0.731	1.000	317	288	211	46,750	3,205	28,688	302,319	380,962	278,483
9	R16	0.703	1.000	317	288	202	46,750	3,205	28,305	302,319	380,579	267,547
10	R17	0.676	1.000	317	288	195	46,750	3,205	27,928	302,319	380,202	257,017
11	R18	0.650	1.000	317	288	187	46,750	3,205	27,555	302,319	379,829	246,889
12	R19	0.625	1.000	317	288	180	46,750	3,205	27,188	302,319	379,462	237,164
13	R20	0.601	1.000	317	288	173	46,750	3,205	26,825	302,319	379,099	227,838
14	R21	0.577	1.000	317	288	166	46,750	3,205	26,468	302,319	378,742	218,534
15	R22	0.555	1.000	317	288	160	46,750	3,205	26,115	302,319	378,389	210,006
16	R23	0.534	1.000	317	288	154	46,750	3,205	25,767	302,319	378,041	201,874
17	R24	0.513	1.000	317	288	148	46,750	3,205	25,423	302,319	377,697	193,759
18	R25	0.494	1.000	317	288	142	46,750	3,205	25,084	302,319	377,358	186,415
19	R26	0.475	1.000	317	288	137	46,750	3,205	24,750	302,319	377,024	179,086
20	R27	0.456	1.000	317	288	131	46,750	3,205	24,420	302,319	376,694	171,772
21	R28	0.439	1.000	317	288	126	46,750	3,205	24,094	302,319	376,368	165,226
22	R29	0.422	1.000	317	288	122	46,750	3,205	23,773	302,319	376,047	158,692
23	R30	0.406	1.000	317	288	117	46,750	3,205	23,456	302,319	375,730	152,546
24	R31	0.390	1.000	317	288	112	46,750	3,205	23,143	302,319	375,417	146,413
25	R32	0.375	1.000	317	288	108	46,750	3,205	22,835	302,319	375,109	140,666
26	R33	0.361	1.000	317	288	104	46,750	3,205	22,530	302,319	374,804	135,304
27	R34	0.347	1.000	317	288	100	46,750	3,205	22,230	302,319	374,504	129,953
28	R35	0.333	1.000	317	288	96	46,750	3,205	21,933	302,319	374,207	124,611
29	R36	0.321	1.000	317	288	92	46,750	3,205	21,641	302,319	373,915	120,027
30	R37	0.308	1.000	317	288	89	46,750	3,205	21,352	302,319	373,626	115,077
31	R38	0.296	1.000	317	288	85	46,750	3,205	21,068	302,319	373,342	110,509
32	R39	0.285	1.000	317	288	82	46,750	3,205	20,787	302,319	373,061	106,322
33	R40	0.274	1.000	317	288	79	46,750	3,205	20,510	302,319	372,784	102,143
34	R41	0.264	1.000	317	288	76	46,750	3,205	20,236	302,319	372,510	98,343
35	R42	0.253	1.000	317	288	73	46,750	3,205	19,966	302,319	372,240	94,177
36	R43	0.244	1.000	317	288	70	46,750	3,205	19,700	302,319	371,974	90,762
37	R44	0.234	1.000	317	288	67	46,750	3,205	19,437	302,319	371,711	86,980
38	R45	0.225	1.000	317	288	65	46,750	3,205	19,178	302,319	371,452	83,577

39	R46	0.217	1.000	317	288	62	46,750	3,205	18,922	302,319	371,196	80,550
40	R47	0.208	1.000	317	288	60	46,750	3,205	18,670	302,319	370,944	77,156
41	R48	0.200	1.000	317	288	58	46,750	3,205	18,421	302,319	370,695	74,139
42	R49	0.193	1.000	317	288	56	46,750	3,205	18,176	302,319	370,450	71,497
43	R50	0.185	1.000	317	288	53	46,750	3,205	17,933	302,319	370,207	68,488
44	R51	0.178	1.000	317	288	51	46,750	3,205	17,694	302,319	369,968	65,854
45	R52	0.171	1.000	317	288	49	46,750	3,205	17,458	302,319	369,732	63,224
46	R53	0.165	1.000	200	182	30	4,871	0	17,225	0	22,096	3,646
47	R54	0.158	1.000	194	176	28	322	0	16,996	0	17,318	2,736
48	R55	0.152	1.000	126	115	17	322	0	16,769	0	17,091	2,598
49	R56	0.146	1.000	94	85	12	322	0	16,546	0	16,868	2,463
50	R57	0.141	1.000	87	79	11	0	0	16,325	0	16,325	2,302
51	R58	0.135	1.000	79	72	10	0	0	0	0	0	0
52	R59	0.130	1.000	79	72	9	0	0	0	0	0	0
53	R60	0.125	1.000	35	32	4	0	0	0	0	0	0
計				3,605,850		4,944,904	計					6,808,084

※評価期間は、便益対象施設が複数ある場合、各施設の整備毎に効果が発生するものとして算定

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。

3. 効果額の算定方法

(1) 水産物生産コストの削減効果

① 外郭施設整備による係留、見回り及び上下架作業時間の短縮

現状では港内静穏度が悪いことから、荒天時には漁船間の接触・岸壁への衝突を防ぐため、通常よりも係留ロープ数を増やすなどの強固な係留作業を行っている状況である。

外郭施設整備後は、港内静穏度が向上することから、荒天時の強固な係留作業時間が削減される。

区分		数量	備考
漁船隻数	定置網漁業(10~20t)	(隻)	2
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(隻)	6
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(隻)	6
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(隻)	3
	イカ釣り漁業(3~5t)	(隻)	1
	イカ釣り漁業(5~10t)	(隻)	8
	イカ釣り漁業(10~20t)	(隻)	11
作業人数	定置網漁業(10~20t)	(人/隻)	10
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(人/隻)	2
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(人/隻)	3
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(人/隻)	4
	イカ釣り漁業(3~5t)	(人/隻)	2
	イカ釣り漁業(5~10t)	(人/隻)	3
	イカ釣り漁業(10~20t)	(人/隻)	5
対象回数	定置網漁業(10~20t)	(回/年)	16.7
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(回/年)	34.3
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(回/年)	34.3
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(回/年)	34.3
	イカ釣り漁業(3~5t)	(回/年)	16.5
	イカ釣り漁業(5~10t)	(回/年)	16.5
	イカ釣り漁業(10~20t)	(回/年)	16.5
作業時間	(整備前)	(時間/回)	④ 2.00
	(整備後)	(時間/回)	⑤ 0
労務単価	定置網漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(円/時間)	2,075
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(円/時間)	2,843
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(円/時間)	2,508
	イカ釣り漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075
	イカ釣り漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843
	イカ釣り漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508
強固な係留作業時間の削減	定置網漁業(10~20t)	(千円/年)	1,675
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(千円/年)	1,708
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(千円/年)	3,511
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(千円/年)	⑦ 2,065
	イカ釣り漁業(3~5t)	(千円/年)	137
	イカ釣り漁業(5~10t)	(千円/年)	2,252
	イカ釣り漁業(10~20t)	(千円/年)	4,552
年間便益額	(千円/年)	⑧ 15,900	⑦の合計
対象回数	定置網漁業(10~20t)	(回/年)	16.7
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(回/年)	34.3
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(回/年)	34.3
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(回/年)	34.3
	イカ釣り漁業(3~5t)	(回/年)	16.5
	イカ釣り漁業(5~10t)	(回/年)	16.5
	イカ釣り漁業(10~20t)	(回/年)	16.5
作業人数	定置網漁業(10~20t)	(人/隻)	2
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(人/隻)	2
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(人/隻)	2
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(人/隻)	2
	イカ釣り漁業(3~5t)	(人/隻)	2
	イカ釣り漁業(5~10t)	(人/隻)	2
	イカ釣り漁業(10~20t)	(人/隻)	2
波浪注意報以上発令1回当たり継続時間	定置網漁業(10~20t)	(時間)	⑪ 31.8
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(時間)	35.8
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(時間)	35.8
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(時間)	35.8
	イカ釣り漁業(3~5t)	(時間)	39.2
	イカ釣り漁業(5~10t)	(時間)	39.2
	イカ釣り漁業(10~20t)	(時間)	39.2
見回り時間間隔	(整備前)	(時間/回)	⑫ 8
	(整備後)	(時間/回)	⑬ 24

作業時間	(整備前)	定置網漁業(10~20t)	(時間/回)	⑭	0.60	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
		刺網・かご漁業等(3~5t)	(時間/回)		0.60	
		刺網・かご漁業等(5~10t)	(時間/回)		0.60	
		刺網・かご漁業等(10~20t)	(時間/回)		0.60	
		イカ釣り漁業(3~5t)	(時間/回)		0.50	
		イカ釣り漁業(5~10t)	(時間/回)		0.50	
		イカ釣り漁業(10~20t)	(時間/回)		0.50	
	(整備後)	定置網漁業(10~20t)	(時間/回)	⑮	0.10	
		刺網・かご漁業等(3~5t)	(時間/回)		0.10	
		刺網・かご漁業等(5~10t)	(時間/回)		0.10	
		刺網・かご漁業等(10~20t)	(時間/回)		0.10	
		イカ釣り漁業(3~5t)	(時間/回)		0.00	
		イカ釣り漁業(5~10t)	(時間/回)		0.00	
		イカ釣り漁業(10~20t)	(時間/回)		0.00	
見回り作業時間の短縮	定置網漁業(10~20t)	(千円/年)	⑯	377	①×⑨×⑩×(⑪/⑫×⑬-⑭/⑮×⑯)×⑰ /1,000	
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(千円/年)		2,166		
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(千円/年)		2,967		
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(千円/年)		1,309		
	イカ釣り漁業(3~5t)	(千円/年)		168		
	イカ釣り漁業(5~10t)	(千円/年)		1,839		
	イカ釣り漁業(10~20t)	(千円/年)		2,230		
年間便益額	(千円/年)	⑰	11,056	⑯の合計		
漁船隻数	定置網漁業(10~20t)	(隻)	⑱	2	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(隻)		6		
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(隻)		6		
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(隻)		3		
対象回数	定置網漁業(10~20t)	(回/年)	⑲	16.7	対象漁船の操業期間における波浪注意報発令回数(札幌管区気象台)	
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(回/年)		34.3		
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(回/年)		34.3		
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(回/年)		34.3		
波浪注意報以上発令1回当たり継続時間	定置網漁業(10~20t)	(時間)	⑳	31.8	日高中部海域 波浪注意報以上発令時間(札幌管区気象台)	
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(時間)		35.8		
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(時間)		35.8		
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(時間)		35.8		
走行距離	(km/往復)	㉑	2.00	1往復あたり		
走行経費	(円・台/km)	㉒	23.57	費用分析マニュアル(国土交通省道路局、都市局 令和7年8月)		
GDPデフレーター	令和7年		㉓	110.2	内閣府経済社会総合研究所	
	令和6年		㉔	110.2		
車両経費の削減	定置網漁業(10~20t)	(千円/年)	㉕	4	⑱×⑲×(⑳/㉑-㉒/㉓)×㉔×㉕×㉖/1,000	
	刺網・かご漁業等(3~5t)	(千円/年)		29		
	刺網・かご漁業等(5~10t)	(千円/年)		29		
	刺網・かご漁業等(10~20t)	(千円/年)		14		
年間便益額	(千円/年)	㉖	76	㉕の合計		
漁船隻数	採介藻漁業(0~3t)	(隻)	㉗	27	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
対象回数	採介藻漁業(0~3t)	(回/年)	㉘	8.9	対象漁船の操業期間における波浪注意報発令回数(札幌管区気象台)	
作業人数	採介藻漁業(0~3t)	(人/隻)	㉙	2	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
波浪注意報以上発令1回当たり継続時間	採介藻漁業(0~3t)	(時間)	㉚	37.5	日高中部海域 波浪注意報以上発令時間(札幌管区気象台)	
見回り時間間隔	(整備前)	採介藻漁業(0~3t)	(時間)	㉛	8 24時間/1日当たり作業回数 3回	
	(整備後)	採介藻漁業(0~3t)	(時間)	㉜	24 24時間/1日当たり作業回数 1回	

作業時間	(整備前)	採介藻漁業(0~3t)	(時間/回)	③③	0.60	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	(整備後)	採介藻漁業(0~3t)	(時間/回)	③④	0.10	
労務単価		採介藻漁業(0~3t)	(円/時間)	③⑤	1,632	令和5年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月)より
見回り作業時間の短縮			(千円/年)	③⑥	2,083	$②⑦ \times ②⑧ \times ②⑨ \times (③⑦/③①) \times ③⑧ - ③⑦/③② \times ③④) \times ③⑤$ /1,000
年間便益額			(千円/年)	③⑦	2,083	③⑥の合計
走行距離			(km/往復)	③⑧	2.00	1往復あたり
走行経費			(円・台/km)	③⑨	23.57	費用分析マニュアル(国土交通省道路局、都市局 令和7年8月)
GDPデフレーター	令和7年			④⑩	110.2	内閣府経済社会総合研究所
	令和6年			④⑪	110.2	
車両経費の削減			(千円/年)	④⑫	35	$②⑦ \times ②⑧ (③⑦/③② - ③①/③②) \times ③⑧ \times ③⑨ \times ④⑩/④⑪$ /1,000
年間便益額			(千円/年)	④⑬	35	④⑫の合計
対象回数		採介藻漁業(0~3t)	(回/年)	④⑭	40	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業人数		採介藻漁業(0~3t)	(人/隻)	④⑮	2	
作業時間	(整備前)	採介藻漁業(0~3t)	(時間/回)	④⑯	0.33	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	(整備後)	採介藻漁業(0~3t)	(時間/回)	④⑰	0.16	
労務単価		採介藻漁業(0~3t)	(円/時間)	④⑱	1,632	令和5年漁業経営調査報告書(農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月)より
上下架作業時間の短縮			(千円/年)	④⑲	599	$②⑦ \times ④⑭ \times ④⑮ \times (④⑯ - ④⑰) \times ④⑱/1,000$
年間便益額			(千円/年)	④⑳	599	④⑲の合計
前特定計画における便益対象施設の整備延長			(m)	⑤①	527.0	
本特定計画における便益対象施設の整備延長			(m)	⑤②	355.0	
按分率				⑤③	40.2%	$⑤① / (⑤① + ⑤②)$
年間総便益額			(千円/年)	⑤④	13,584	$(⑤① + ⑤⑲ + ⑤⑳) \times ⑤③ + ⑤⑲ + ④⑬ + ⑤⑰$

② 外郭施設整備による漁船耐用年数の延長

現在、港内静穏度が悪いいため、係留時に漁船間、岸壁との接触・衝突が多い状況である。
整備後は、外郭施設整備による港内静穏度の向上により漁船の耐用年数が延長する。

区分		数量	備考	
漁船隻数	定置網漁業(10～20t)	(隻)	2	
	刺網・かご漁業等(3～5t)	(隻)	6	
	刺網・かご漁業等(5～10t)	(隻)	6	
	刺網・かご漁業等(10～20t)	(隻)	3	
	イカ釣り漁業(3～5t)	(隻)	1	
	イカ釣り漁業(5～10t)	(隻)	8	
	イカ釣り漁業(10～20t)	(隻)	11	
平均トン数	3t未満	(t/隻)	1.0	
	3～5t	(t/隻)	4.7	
	5～10t	(t/隻)	9.6	
	10～20t	(t/隻)	19.1	
係留月数	定置網漁業(10～20t)	(ヶ月)	7	
	刺網・かご漁業等(3～5t)	(ヶ月)	12	
	刺網・かご漁業等(5～10t)	(ヶ月)	12	
	刺網・かご漁業等(10～20t)	(ヶ月)	12	
	イカ釣り漁業(3～5t)	(ヶ月)	5	
	イカ釣り漁業(5～10t)	(ヶ月)	5	
耐用年数	(整備前)	定置網漁業(10～20t)	(年)	7.00
		刺網・かご漁業等(3～5t)	(年)	7.00
		刺網・かご漁業等(5～10t)	(年)	7.00
		刺網・かご漁業等(10～20t)	(年)	7.00
		イカ釣り漁業(3～5t)	(年)	7.00
		イカ釣り漁業(5～10t)	(年)	7.00
		イカ釣り漁業(10～20t)	(年)	7.00
	(整備後)	定置網漁業(10～20t)	(年)	10.17
		刺網・かご漁業等(3～5t)	(年)	10.17
		刺網・かご漁業等(5～10t)	(年)	10.17
		刺網・かご漁業等(10～20t)	(年)	10.17
		イカ釣り漁業(3～5t)	(年)	10.17
		イカ釣り漁業(5～10t)	(年)	10.17
		イカ釣り漁業(10～20t)	(年)	10.17
漁船建造費	定置網漁業(10～20t)	(千円/t)	5,009	
	刺網・かご漁業等(3～5t)	(千円/t)	5,009	
	刺網・かご漁業等(5～10t)	(千円/t)	5,009	
	刺網・かご漁業等(10～20t)	(千円/t)	5,009	
	イカ釣り漁業(3～5t)	(千円/t)	5,009	
	イカ釣り漁業(5～10t)	(千円/t)	5,009	
	イカ釣り漁業(10～20t)	(千円/t)	5,009	
漁船耐用年数の延長	定置網漁業(10～20t)	(千円/年)	4,970	
	刺網・かご漁業等(3～5t)	(千円/年)	6,290	
	刺網・かご漁業等(5～10t)	(千円/年)	12,847	
	刺網・かご漁業等(10～20t)	(千円/年)	12,780	
	イカ釣り漁業(3～5t)	(千円/年)	446	
	イカ釣り漁業(5～10t)	(千円/年)	6,320	
	イカ釣り漁業(10～20t)	(千円/年)	14,619	
年間便益額	(千円/年)	⑧	58,272	⑦の合計
前特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑨	527.0	
本特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑩	355.0	
按分率		⑪	40.2%	⑩/(⑨+⑩)
年間総便益額	(千円/年)	⑫	23,425	⑧×⑪

調査日：令和7年6月17日
調査対象者：ひだか漁業協同組合
三石支所 職員
新ひだか町 職員
調査実施者：浦河港湾事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

減価償却資産の耐用年数等に関する省令
(財務省)

水産基盤整備事業費用対効果分析ガイドライン(R7.6)

造船造機統計調査(国土交通省)より

①×②×③/12×(1/④-1/⑤)×⑥

③ 外郭施設整備による航行作業時間の短縮

現在、航路及び港内の静穏度が悪く、岸壁や漁船間の接触の危険性が高いため、出入港の際には慎重な航行を強いられている。外郭施設整備により、静穏度の向上が図られ、出入港の際に生じている不要な時間の削減が図られる。

区分		数量	備考
漁船隻数	定置網漁業(0~3t)	(隻) 4	
	定置網漁業(10~20t)	(隻) 2	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(隻) 2	
	タコ漁業(0~3t)	(隻) 3	
	タコ漁業(3~5t)	(隻) 6	
	タコ漁業(5~10t)	(隻) 6	
	タコ漁業(10~20t)	(隻) 3	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(隻) 1	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(隻) 11	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(隻) 11	
	刺網漁業(0~3t)	(隻) 10	
	刺網漁業(3~5t)	(隻) 1	
	刺網漁業(5~10t)	(隻) 3	
	刺網漁業(10~20t)	(隻) 3	
	かご漁業(0~3t)	(隻) 1	
	かご漁業(3~5t)	(隻) 4	
	かご漁業(5~10t)	(隻) 6	
	かご漁業(10~20t)	(隻) 3	
作業人数	定置網漁業(0~3t)	(人/隻) 2	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	定置網漁業(10~20t)	(人/隻) 10	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(人/隻) 2	
	タコ漁業(0~3t)	(人/隻) 2	
	タコ漁業(3~5t)	(人/隻) 2	
	タコ漁業(5~10t)	(人/隻) 3	
	タコ漁業(10~20t)	(人/隻) 4	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(人/隻) 2	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(人/隻) 6	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(人/隻) 5	
	刺網漁業(0~3t)	(人/隻) 2	
	刺網漁業(3~5t)	(人/隻) 2	
	刺網漁業(5~10t)	(人/隻) 3	
	刺網漁業(10~20t)	(人/隻) 4	
	かご漁業(0~3t)	(人/隻) 2	
	かご漁業(3~5t)	(人/隻) 2	
	かご漁業(5~10t)	(人/隻) 3	
	かご漁業(10~20t)	(人/隻) 4	
作業日数	定置網漁業(0~3t)	(日間) 60	
	定置網漁業(10~20t)	(日間) 60	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(日間) 60	
	タコ漁業(0~3t)	(日間) 96	
	タコ漁業(3~5t)	(日間) 96	
	タコ漁業(5~10t)	(日間) 96	
	タコ漁業(10~20t)	(日間) 96	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(日間) 20	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(日間) 20	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(日間) 20	
	刺網漁業(0~3t)	(日間) 60	
	刺網漁業(3~5t)	(日間) 60	
	刺網漁業(5~10t)	(日間) 60	
	刺網漁業(10~20t)	(日間) 60	
	かご漁業(0~3t)	(日間) 84	
	かご漁業(3~5t)	(日間) 84	
	かご漁業(5~10t)	(日間) 84	
	かご漁業(10~20t)	(日間) 84	
航行時間	(整備前)	(時間/日) ④ 0.16	
	(整備後)	(時間/日) ⑤ 0.06	

労務単価	定置網漁業(0~3t)	(円/時間)	1,632	令和5年漁業経営調査報告(農林水産省大臣官房統計部, 令和7年3月)より
	定置網漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075	
	タコ漁業(0~3t)	(円/時間)	1,632	
	タコ漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075	
	タコ漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843	
	タコ漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	刺網漁業(0~3t)	(円/時間)	1,632	
	刺網漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075	
	刺網漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843	
	刺網漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	かご漁業(0~3t)	(円/時間)	1,632	
	かご漁業(3~5t)	(円/時間)	2,075	
	かご漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843	
	かご漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
時間削減による作業経費の削減	定置網漁業(0~3t)	(千円/年)	78	①×②×③×(④-⑤)×⑥/1,000
	定置網漁業(10~20t)	(千円/年)	301	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(千円/年)	50	
	タコ漁業(0~3t)	(千円/年)	94	
	タコ漁業(3~5t)	(千円/年)	239	
	タコ漁業(5~10t)	(千円/年)	491	
	タコ漁業(10~20t)	(千円/年)	289	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(千円/年)	8	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(千円/年)	375	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(千円/年)	276	
	刺網漁業(0~3t)	(千円/年)	196	
	刺網漁業(3~5t)	(千円/年)	25	
	刺網漁業(5~10t)	(千円/年)	154	
	刺網漁業(10~20t)	(千円/年)	181	
	かご漁業(0~3t)	(千円/年)	27	
かご漁業(3~5t)	(千円/年)	139		
かご漁業(5~10t)	(千円/年)	430		
かご漁業(10~20t)	(千円/年)	253		
年間便益額	(千円/年)	⑧	3,606	⑦の合計
漁船燃費	(kg/PS/h)	⑨	0.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
漁船馬力	定置網漁業(0~3t)	(PS)	46	北海道漁船統計表(令和5年)
	定置網漁業(10~20t)	(PS)	391	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(PS)	215	
	タコ漁業(0~3t)	(PS)	46	
	タコ漁業(3~5t)	(PS)	215	
	タコ漁業(5~10t)	(PS)	215	
	タコ漁業(10~20t)	(PS)	391	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(PS)	215	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(PS)	215	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(PS)	391	
	刺網漁業(0~3t)	(PS)	46	
	刺網漁業(3~5t)	(PS)	215	
	刺網漁業(5~10t)	(PS)	215	
	刺網漁業(10~20t)	(PS)	391	
	かご漁業(0~3t)	(PS)	46	
	かご漁業(3~5t)	(PS)	215	
	かご漁業(5~10t)	(PS)	215	
	かご漁業(10~20t)	(PS)	391	

燃油単価	定置網漁業(0~3t)	(円/1)	⑪	95.7	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部)
	定置網漁業(10~20t)	(円/1)		95.7	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(円/1)		95.7	
	タコ漁業(0~3t)	(円/1)		96.7	
	タコ漁業(3~5t)	(円/1)		95.7	
	タコ漁業(5~10t)	(円/1)		96.7	
	タコ漁業(10~20t)	(円/1)		96.7	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(円/1)		95.7	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(円/1)		96.7	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(円/1)		96.7	
	刺網漁業(0~3t)	(円/1)		96.7	
	刺網漁業(3~5t)	(円/1)		95.7	
	刺網漁業(5~10t)	(円/1)		96.7	
	刺網漁業(10~20t)	(円/1)		96.7	
	かご漁業(0~3t)	(円/1)		96.7	
	かご漁業(3~5t)	(円/1)		95.7	
	かご漁業(5~10t)	(円/1)		96.7	
かご漁業(10~20t)	(円/1)	96.7			
燃油重量	定置網漁業(0~3t)	(kg/m3)	⑫	820	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
	定置網漁業(10~20t)	(kg/m3)		820	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(kg/m3)		820	
	タコ漁業(0~3t)	(kg/m3)		860	
	タコ漁業(3~5t)	(kg/m3)		820	
	タコ漁業(5~10t)	(kg/m3)		860	
	タコ漁業(10~20t)	(kg/m3)		860	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(kg/m3)		820	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(kg/m3)		860	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(kg/m3)		860	
	刺網漁業(0~3t)	(kg/m3)		860	
	刺網漁業(3~5t)	(kg/m3)		820	
	刺網漁業(5~10t)	(kg/m3)		860	
	刺網漁業(10~20t)	(kg/m3)		860	
	かご漁業(0~3t)	(kg/m3)		860	
	かご漁業(3~5t)	(kg/m3)		820	
	かご漁業(5~10t)	(kg/m3)		860	
かご漁業(10~20t)	(kg/m3)	860			
出入港時の漁船燃料費の削減	定置網漁業(0~3t)	(千円/年)	⑬	22	①×③×(④-⑤)×⑨×⑩×⑪/⑫/1,000
	定置網漁業(10~20t)	(千円/年)		93	
	桁ひき網漁業(3~5t)	(千円/年)		51	
	タコ漁業(0~3t)	(千円/年)		25	
	タコ漁業(3~5t)	(千円/年)		246	
	タコ漁業(5~10t)	(千円/年)		237	
	タコ漁業(10~20t)	(千円/年)		215	
	イカ釣り漁業(3~5t)	(千円/年)		9	
	イカ釣り漁業(5~10t)	(千円/年)		90	
	イカ釣り漁業(10~20t)	(千円/年)		164	
	刺網漁業(0~3t)	(千円/年)		53	
	刺網漁業(3~5t)	(千円/年)		26	
	刺網漁業(5~10t)	(千円/年)		74	
	刺網漁業(10~20t)	(千円/年)		135	
	かご漁業(0~3t)	(千円/年)		7	
	かご漁業(3~5t)	(千円/年)		143	
	かご漁業(5~10t)	(千円/年)		207	
かご漁業(10~20t)	(千円/年)	188			
年間便益額	(千円/年)	⑭	1,985	⑬の合計	
前特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑮	527.0		
本特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑯	355.0		
按分率		⑰	40.2%	⑯/(⑮+⑯)	
年間総便益額	(千円/年)	⑱	2,248	(⑮+⑱)×⑰	

④ 外郭施設等整備による漁船・クレーン移動時間の短縮

第3港区では、ふ頭での越波および道路護岸での越波が著しい状況にあり、斜路上に玉石の打ち上げなどの被害が生じている。このため、注意報が発令される程度の荒天時には、ふ頭に設置しているクレーン（昆布陸揚用）及び船揚場の漁船を高台に移動する作業が発生している。

護岸の改良により越波が抑えられ、移動に要する経費が削減される。

区分		数量	備考
作業人数	(人/回)	① 15	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業時間	(時間/回)	② 3	
作業回数	(回/年)	③ 3	
労務単価	(円/時間)	④ 2,210	毎月勤労統計調査 全国調査・地方調査 (令和7年5月)：一般利用者
清掃作業時間の削減	(千円/年)	⑤ 298	①×②×③×④/1,000
年間便益額	(千円/年)	⑥ 298	⑤の合計
対象数量	クレーン (台, 隻)	⑦ 2	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	漁船 (台, 隻)	27	
作業人数	クレーン (人/台, 人/隻)	⑧ 8	
	漁船 (人/台, 人/隻)	2	
平均作業時間	クレーン (時間/台, 時間/隻)	⑨ 1.5	
	漁船 (時間/台, 時間/隻)	1.0	
年間作業回数	クレーン (回/年)	⑩ 8.9	採藻漁期中の波浪注意報発令回数（札幌管区気象台）
	漁船 (回/年)	8.9	
労務単価	クレーン (円/時間)	⑪ 2,210	毎月勤労統計調査 全国調査・地方調査 (令和7年5月)：一般利用者
	漁船 (円/時間)	2,210	
漁船・クレーン避難作業における労務費の削減	クレーン (千円/年)	⑫ 472	⑦×⑧×⑨×⑩×⑪/1,000
	漁船 (千円/年)	1,062	
年間便益額	(千円/年)	⑬ 1,534	⑫の合計
年間総便益額	(千円/年)	⑭ 1,832	⑥+⑬

⑤ 道路整備による積込作業時間の短縮

現状では、荷捌所の背後で出荷作業を行っているが、荷捌所背後の道路は、老朽化による不陸から、水たまり等が生じていることに加え、水産物輸送のための停車帯が整備されておらず、待機トラックが路肩に停車しているため、輸送道路が狭隘であることから、出荷トラックは慎重な出入りを強いられ、非効率な作業となっている。

荷捌所積込スペース及び道路の整備後は、不陸の解消及び道路幅が拡張されることにより、円滑な出荷トラックの出入が可能となる。また、出荷トラックが荷捌所出入口まで寄せることが可能となるため、フォークリフトの走行距離が短くなることから、走行時間(運搬時間)が短縮される。効率的な積み込み作業が可能となることから、水産物輸送・出荷作業時間が短縮し、経費が削減される。

区分		数量	備考
年間陸揚量	定置網漁業 (t/年)	1,046.1	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
	タコ漁業 (t/年)	105.6	
	イカ釣り漁業 (t/年) ①	64.9	
	刺網漁業 (t/年)	226.2	
	かご漁業 (t/年)	49.7	
車両積載量	定置網漁業 (t/台)	8.0	
	タコ漁業 (t/台)	5.5	
	イカ釣り漁業 (t/台) ②	5.5	
	刺網漁業 (t/台)	5.5	
	かご漁業 (t/台)	5.5	
作業人数	定置網漁業 (人/台)	2	
	タコ漁業 (人/台)	2	
	イカ釣り漁業 (人/台) ③	2	
	刺網漁業 (人/台)	2	
	かご漁業 (人/台)	2	
作業時間	(整備前)	定置網漁業 (時間/人)	1.00
		タコ漁業 (時間/人)	1.10
		イカ釣り漁業 (時間/人) ④	1.10
		刺網漁業 (時間/人)	1.10
		かご漁業 (時間/人)	1.10
	(整備後)	定置網漁業 (時間/人)	0.67
		タコ漁業 (時間/人)	0.73
		イカ釣り漁業 (時間/人) ⑤	0.73
		刺網漁業 (時間/人)	0.73
		かご漁業 (時間/人)	0.73
労務単価	定置網漁業 (円/時間)	2,210	毎月勤労統計調査 全国調査・地方調査 (令和7年5月)：一般利用者
	タコ漁業 (円/時間)	2,210	
	イカ釣り漁業 (円/時間) ⑥	2,210	
	刺網漁業 (円/時間)	2,210	
	かご漁業 (円/時間)	2,210	
年間便益額	定置網漁業 (千円/年)	190	①/②×③×(④-⑤)×⑥/1,000
	タコ漁業 (千円/年)	31	
	イカ釣り漁業 (千円/年) ⑦	20	
	刺網漁業 (千円/年)	66	
	かご漁業 (千円/年)	15	
年間便益額 (千円/年) ⑧	322	⑦の合計	

⑥ 外郭施設整備による外来船の漁場までの航行時間の短縮

近年、三石漁港の静穏が悪いことから、従来より三石漁港で陸揚げしていたイカ釣り外来船が、他港で陸揚げしている状況にある。外郭施設の整備後は、三石漁港の静穏が確保され、安全な陸揚げが可能となることから、他港へ移ったイカ釣り外来船は、三石漁港へ戻ってくると考えられる。

整備後、三石漁港へ戻ってくるイカ釣り外来船は、漁場までの移動距離が短くなることから、航行作業に要する労働力の削減が図られる。なお、現在及び今後における所要時間については、漁協ヒアリングより把握した。

区分		数量	備考	
漁船隻数	イカ釣り外来(3~5t) (隻)	1	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
	イカ釣り外来(5~10t) (隻)	4		
	イカ釣り外来(10~20t) (隻)	7		
作業人数	イカ釣り外来(3~5t) (人/台)	3		
	イカ釣り外来(5~10t) (人/台)	3		
	イカ釣り外来(10~20t) (人/台)	3		
往復航行時間	(整備前)	イカ釣り外来(3~5t) (時間/日)		9.00
		イカ釣り外来(5~10t) (時間/日)		9.00
		イカ釣り外来(10~20t) (時間/日)		9.00
	(整備後)	イカ釣り外来(3~5t) (時間/日)		5.00
		イカ釣り外来(5~10t) (時間/日)	5.00	
		イカ釣り外来(10~20t) (時間/日)	5.00	
操業日数	イカ釣り外来(3~5t) (日/年)	20		
	イカ釣り外来(5~10t) (日/年)	20		
	イカ釣り外来(10~20t) (日/年)	20		
労務単価	イカ釣り外来(3~5t) (円/時間)	2,075	令和5年漁業経営調査報告(農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月)より	
	イカ釣り外来(5~10t) (円/時間)	2,843		
	イカ釣り外来(10~20t) (円/時間)	2,508		
航行作業に要する労働力の削減	イカ釣り外来(3~5t) (千円/年)	498	①×②×(③-④)×⑤×⑥/1,000	
	イカ釣り外来(5~10t) (千円/年)	2,729		
	イカ釣り外来(10~20t) (千円/年)	4,213		
年間便益額	(千円/年)	⑧	7,440	⑦の合計
漁船燃費	(kg/PS/h)	⑨	0.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
漁船馬力	イカ釣り外来(3~5t) (PS)	⑩	215	北海道漁船統計表(令和5年)※航行中の出力馬力は定格出力の80%
	イカ釣り外来(5~10t) (PS)		215	
	イカ釣り外来(10~20t) (PS)		391	
燃油重量	イカ釣り外来(3~5t) (kg/m3)	⑪	820	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
	イカ釣り外来(5~10t) (kg/m3)		860	
	イカ釣り外来(10~20t) (kg/m3)		860	
燃油単価	イカ釣り外来(3~5t) (円/l)	⑫	95.7	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部)
	イカ釣り外来(5~10t) (円/l)		96.7	
	イカ釣り外来(10~20t) (円/l)		96.7	
漁船燃料費の削減	イカ釣り外来(3~5t) (千円/年)	⑬	341	①×(③-④)×⑤×⑨×⑩/⑪×⑫/1,000
	イカ釣り外来(5~10t) (千円/年)		1,315	
	イカ釣り外来(10~20t) (千円/年)		4,185	
年間便益額	(千円/年)	⑭	5,841	⑬の合計
前特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑮	527.0	
本特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑯	355.0	
按分率		⑰	40.2%	⑯/(⑮+⑯)
年間総便益額	(千円/年)	⑱	5,339	(⑮+⑱)×⑰

(2) 漁獲機会の増大効果

① 外郭施設整備による外来船の漁獲量の増加

整備後、三石漁港にシフトする外来船（イカ釣）は、漁場までの移動距離が短くなることから、漁場での作業時間の拡大が可能となり、漁獲量が増加する。

区分		数量	備考
漁船隻数	イカ釣り外来 (隻)	① 12	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査
作業日数	イカ釣り外来 (日/年)	② 20	
1隻当たり時間当たり漁獲高	イカ釣り外来 (千円/時間・隻)	③ 14.7	
増加作業時間	イカ釣り外来 (時間/日)	④ 4.00	
所得率		⑤ 56.5%	令和5年漁業経営調査報告(農林水産省、令和7年3月)
年間便益額	(千円/年)	⑥ 7,973	①×②×③×④×⑤
前特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑦ 527.0	
本特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑧ 355.0	
按分率		⑨ 40.2%	⑧/(⑦+⑧)
年間便益額	(千円/年)	⑩ 3,205	⑥×⑨

(8) 生命・財産保全・防御効果

① 津波対策による漁業活動損失の回避及び施設復旧費の削減

岸壁の津波対策による、震災後の生産額の維持、生産経費の増加回避、施設被害の回避による便益が見込まれる。
また、防波堤の津波対策（粘り強い構造）及び岸壁の耐津波化を実施することにより、災害後における、追加的な復旧費用の負担を回避できる。

区分		数量	備考
整備前の利用可能岸壁延長	(m)	① 70	様似漁港：-5.5m岸壁 120mのうち、屋根施設分50m（地元沖底船が利用）を除く70m
整備後の利用可能岸壁延長	(m)	② 90	三石漁港：-3.5m岸壁（耐震・耐津波）
整備前の利用可能漁船階層	(t未満)	③ 300	様似漁港：岸壁階層より
整備後の利用可能漁船階層	(t未満)	④ 20	三石漁港：岸壁階層より
整備前の陸揚げ利用可能時間	(時間)	⑤ 12	様似漁港：陸揚時間（5～17時）より、12時間
整備後の陸揚げ利用可能時間	(時間)	⑥ 15	三石漁港：陸揚時間（5～20時）より、15時間
整備前の1日あたりの陸揚げ岸壁使用可能延長	(m/日)	⑦ 840	①×⑤
整備後の1日あたりの陸揚げ岸壁使用可能延長	(m/日)	⑧ 1,350	②×⑥
操業隻数	定置網(10～20t)	(隻)	2
	タコ漁業(10～20t)	(隻)	3
	カレイ刺網(10～20t)	(隻)	3
	タコ漁業(5～10t)	(隻)	6
	カレイ刺網(5～10t)	(隻)	3
	タコ漁業(3～5t)	(隻)	6
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(隻)	10
	ホッケ・スケソ等刺網(10～20t)	(隻)	3
	カレイ刺網(3～5t)	(隻)	1
	カニ籠(3～5t)	(隻)	4
	ツブ籠(10～20t)	(隻)	3
	ホッケ・スケソ等刺網(5～10t)	(隻)	3
	ツブ籠(5～10t)	(隻)	6
	タコ漁業(3t未満)	(隻)	3
	ツブ籠(3～5t)	(隻)	4
	カニ籠(3t未満)	(隻)	1
	エビ籠(10～20t)	(隻)	3
エビ籠(5～10t)	(隻)	6	
パース長	定置網(10～20t)	(m/隻)	29.1
	タコ漁業(10～20t)	(m/隻)	27.8
	カレイ刺網(10～20t)	(m/隻)	22.4
	タコ漁業(5～10t)	(m/隻)	27.8
	カレイ刺網(5～10t)	(m/隻)	18.5
	タコ漁業(3～5t)	(m/隻)	11.5
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(m/隻)	22.4
	ホッケ・スケソ等刺網(10～20t)	(m/隻)	27.8
	カレイ刺網(3～5t)	(m/隻)	18.5
	カニ籠(3～5t)	(m/隻)	18.5
	ツブ籠(10～20t)	(m/隻)	22.4
	ホッケ・スケソ等刺網(5～10t)	(m/隻)	27.8
	ツブ籠(5～10t)	(m/隻)	11.5
	タコ漁業(3t未満)	(m/隻)	18.5
	ツブ籠(3～5t)	(m/隻)	22.4
	カニ籠(3t未満)	(m/隻)	11.5
	エビ籠(10～20t)	(m/隻)	27.8
エビ籠(5～10t)	(m/隻)	22.4	

調査日：令和7年6月17日
調査対象者：ひだか漁業協同組合
三石支所 職員
新ひだか町 職員
調査実施者：浦河港湾事務所職員
調査実施方法：ヒアリング調査

平均陸揚時間	定置網(10~20t)	(時間/隻)	2.0	調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
	タコ漁業(10~20t)	(時間/隻)	2.0			
	カレイ刺網(10~20t)	(時間/隻)	3.0			
	タコ漁業(5~10t)	(時間/隻)	2.0			
	カレイ刺網(5~10t)	(時間/隻)	3.0			
	タコ漁業(3~5t)	(時間/隻)	2.0			
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(時間/隻)	2.0			
	ホッケ・スケソ等刺網(10~20t)	(時間/隻)	3.0			
	カレイ刺網(3~5t)	(時間/隻)	3.0			
	カニ籠(3~5t)	(時間/隻)	0.5			
	ツブ籠(10~20t)	(時間/隻)	0.5			
	ホッケ・スケソ等刺網(5~10t)	(時間/隻)	3.0			
	ツブ籠(5~10t)	(時間/隻)	0.5			
	タコ漁業(3t未満)	(時間/隻)	2.0			
	ツブ籠(3~5t)	(時間/隻)	0.5			
	カニ籠(3t未満)	(時間/隻)	0.5			
	エビ籠(10~20t)	(時間/隻)	0.5			
エビ籠(5~10t)	(時間/隻)	0.5				
陸揚所要延長	定置網(10~20t)	(m・h)	116.4	⑨×⑩×⑪		
	タコ漁業(10~20t)	(m・h)	166.8			
	カレイ刺網(10~20t)	(m・h)	201.6			
	タコ漁業(5~10t)	(m・h)	333.6			
	カレイ刺網(5~10t)	(m・h)	166.5			
	タコ漁業(3~5t)	(m・h)	138.0			
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(m・h)	448.0			
	ホッケ・スケソ等刺網(10~20t)	(m・h)	250.2			
	カレイ刺網(3~5t)	(m・h)	55.5			
	カニ籠(3~5t)	(m・h)	37.0			
	ツブ籠(10~20t)	(m・h)	33.6			
	ホッケ・スケソ等刺網(5~10t)	(m・h)	250.2			
	ツブ籠(5~10t)	(m・h)	34.5			
	タコ漁業(3t未満)	(m・h)	111.0			
	ツブ籠(3~5t)	(m・h)	44.8			
	カニ籠(3t未満)	(m・h)	5.8			
	エビ籠(10~20t)	(m・h)	41.7			
エビ籠(5~10t)	(m・h)	67.2				
陸揚可能隻数	(整備前)	定置網(10~20t)	(隻)	2	整備前陸揚可能延長÷陸揚時間÷バース長	
		タコ漁業(10~20t)	(隻)	3		
		カレイ刺網(10~20t)	(隻)	3		
		タコ漁業(5~10t)	(隻)	6		
		カレイ刺網(5~10t)	(隻)	0		
		タコ漁業(3~5t)	(隻)	0		
		カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(隻)	0		
		ホッケ・スケソ等刺網(10~20t)	(隻)	0		
		カレイ刺網(3~5t)	(隻)	0		
		カニ籠(3~5t)	(隻)	0		
		ツブ籠(10~20t)	(隻)	0		
		ホッケ・スケソ等刺網(5~10t)	(隻)	0		
		ツブ籠(5~10t)	(隻)	0		
		タコ漁業(3t未満)	(隻)	0		
		ツブ籠(3~5t)	(隻)	0		
		カニ籠(3t未満)	(隻)	0		
		エビ籠(10~20t)	(隻)	0		
	エビ籠(5~10t)	(隻)	0			
	(整備後)	定置網(10~20t)	(隻)	2		整備後陸揚可能延長÷陸揚時間÷バース長
		タコ漁業(10~20t)	(隻)	3		
		カレイ刺網(10~20t)	(隻)	3		
		タコ漁業(5~10t)	(隻)	6		
		カレイ刺網(5~10t)	(隻)	3		
		タコ漁業(3~5t)	(隻)	6		
		カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(隻)	5		
		ホッケ・スケソ等刺網(10~20t)	(隻)	0		
		カレイ刺網(3~5t)	(隻)	0		
		カニ籠(3~5t)	(隻)	0		
		ツブ籠(10~20t)	(隻)	0		
		ホッケ・スケソ等刺網(5~10t)	(隻)	0		
		ツブ籠(5~10t)	(隻)	0		
		タコ漁業(3t未満)	(隻)	0		
		ツブ籠(3~5t)	(隻)	0		
		カニ籠(3t未満)	(隻)	0		
エビ籠(10~20t)		(隻)	0			
エビ籠(5~10t)	(隻)	0				

1隻当たり年間生産額	定置網(10~20t)	(千円)	103,319	年間陸揚金額 (R1~R5港勢調査より)、操業隻数、階層別総トン数から算出		
	タコ漁業(10~20t)	(千円)	8,677			
	カレイ刺網(10~20t)	(千円)	6,395			
	タコ漁業(5~10t)	(千円)	4,361			
	カレイ刺網(5~10t)	(千円)	3,214			
	タコ漁業(3~5t)	(千円)	2,135			
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(千円)	1,739			
	ホッケ・スケツ等刺網(10~20t)	(千円)	1,640			
	カレイ刺網(3~5t)	(千円)	1,574			
	カニ籠(3~5t)	(千円)	1,431			
	ツブ籠(10~20t)	(千円)	1,393			
	ホッケ・スケツ等刺網(5~10t)	(千円)	824			
	ツブ籠(5~10t)	(千円)	700			
	タコ漁業(3t未満)	(千円)	454			
	ツブ籠(3~5t)	(千円)	343			
	カニ籠(3t未満)	(千円)	304			
	エビ籠(10~20t)	(千円)	0			
エビ籠(5~10t)	(千円)	0				
所得率			⑮	56.5%	令和5年漁業経営調査報告(農林水産省、令和7年3月)	
休業損失額の回避	定置網(10~20t)	(千円)	0	⑭×⑮-⑬×⑮)×⑯		
	タコ漁業(10~20t)	(千円)	0			
	カレイ刺網(10~20t)	(千円)	0			
	タコ漁業(5~10t)	(千円)	0			
	カレイ刺網(5~10t)	(千円)	5,448			
	タコ漁業(3~5t)	(千円)	7,238			
	カジカ・ソイ等刺網(3t未満)	(千円)	4,913			
	ホッケ・スケツ等刺網(10~20t)	(千円)	0			
	カレイ刺網(3~5t)	(千円)	0			
	カニ籠(3~5t)	(千円)	0			
	ツブ籠(10~20t)	(千円)	0			
	ホッケ・スケツ等刺網(5~10t)	(千円)	0			
	ツブ籠(5~10t)	(千円)	0			
	タコ漁業(3t未満)	(千円)	0			
	ツブ籠(3~5t)	(千円)	0			
カニ籠(3t未満)	(千円)	0				
エビ籠(10~20t)	(千円)	0				
エビ籠(5~10t)	(千円)	0				
休業損失回避額(震災1回あたり)	(千円/震災1回あたり)	⑰	16,531	(⑰×11/12+⑰×12/12×0.962)/2 ※漁業活動の段階的な回復を考慮(社会的割引率4%)		
前特定計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑱	540,056	前特定計画対象施設:-3.5m岸壁(改良)		
本特定計画における便益対象施設の事業費	(千円)	⑳	402,000	本特定計画対象施設:-3.5m岸壁(改良)+北防波堤(改良)		
按分率		㉑	42.7%	㉑/(⑱+⑳)		
休業損失回避額(震災1回あたり)【本計画分】	(千円/震災1回あたり)	㉒	7,059	⑰×㉑		
代替港利用隻数	定置網(10~20t)	(隻)	2	調査日:令和7年6月17日 調査対象者:ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者:浦河港湾事務所職員 調査実施方法:ヒアリング調査		
	タコ漁業(10~20t)	(隻)	3			
	カレイ刺網(10~20t)	(隻)	3			
	タコ漁業(5~10t)	(隻)	6			
年間出漁日数	定置網(10~20t)	(日)	60			
	タコ漁業(10~20t)	(日)	96			
	カレイ刺網(10~20t)	(日)	60			
	タコ漁業(5~10t)	(日)	96			
乗組員数	定置網(10~20t)	(人/隻)	10			
	タコ漁業(10~20t)	(人/隻)	4			
	カレイ刺網(10~20t)	(人/隻)	4			
	タコ漁業(5~10t)	(人/隻)	3			
移動時間	(整備前)	定置網(10~20t)	(時間)		2.5	三石漁港地先漁場から様似漁港までの往復70kmを航行速度15ノット(=27.78km/hr)として算定
		タコ漁業(10~20t)	(時間)		2.5	
		カレイ刺網(10~20t)	(時間)		2.5	
		タコ漁業(5~10t)	(時間)		2.5	
	(整備後)	定置網(10~20t)	(時間)	0.3	三石漁港から地先漁場往復8kmを航行速度15ノット(=27.78km/hr)として算定	
		タコ漁業(10~20t)	(時間)	0.3		
		カレイ刺網(10~20t)	(時間)	0.3		
		タコ漁業(5~10t)	(時間)	0.3		

労務単価	定置網(10~20t)	(円/時間)	2,508	R5漁業経済調査報告より
	タコ漁業(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	カレイ刺網(10~20t)	(円/時間)	2,508	
	タコ漁業(5~10t)	(円/時間)	2,843	
移動による人件費削減額	定置網(10~20t)	(千円)	6,621	$(23 \times 24 \times 25 \times (26 - 27) \times 28) / 1,000$
	タコ漁業(10~20t)	(千円)	6,356	
	カレイ刺網(10~20t)	(千円)	3,973	
	タコ漁業(5~10t)	(千円)	10,808	
海上移動に要する経費(労務費)削減額(震災1回あたり)		(千円/震災1回)	26,074	$(29 \times 11 / 12 + 29 \times 12 / 12 \times 0.962) / 2$ ※漁業活動の段階的な回復を考慮(社会的割引率4%)
漁船馬力	定置網(10~20t)	(PS)	391	北海道漁船統計表(令和5年) ※航行中の出力馬力は定格出力の80%
	タコ漁業(10~20t)	(PS)	391	
	カレイ刺網(10~20t)	(PS)	391	
	タコ漁業(5~10t)	(PS)	215	
漁船燃費		(kg/PS/h)	0.17	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
燃料重量	定置網(10~20t)	(kg/m ³)	820	水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン-参考資料-(令和7年6月、水産庁)
	タコ漁業(10~20t)	(kg/m ³)	860	
	カレイ刺網(10~20t)	(kg/m ³)	860	
	タコ漁業(5~10t)	(kg/m ³)	860	
燃油単価	定置網(10~20t)	(円/l)	95.7	石油製品価格調査(経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部)
	タコ漁業(10~20t)	(円/l)	96.7	
	カレイ刺網(10~20t)	(円/l)	96.7	
	タコ漁業(5~10t)	(円/l)	96.7	
移動による経費削減額	定置網(10~20t)	(千円)	2,048	$(23 \times 24 \times (26 - 27) \times 31 \times 32 / 33 \times 34) / 1,000$
	タコ漁業(10~20t)	(千円)	4,735	
	カレイ刺網(10~20t)	(千円)	2,960	
	タコ漁業(5~10t)	(千円)	5,208	
海上移動に要する経費(燃料費)削減額(震災1回あたり)		(千円/震災1回)	14,044	$(35 \times 11 / 12 + 35 \times 12 / 12 \times 0.962) / 2$ ※漁業活動の段階的な回復を考慮(社会的割引率4%)
海上移動に要する経費削減額(震災1回あたり)		(千円/震災1回)	40,118	$30 + 36$
前特定計画における便益対象施設の事業費		(千円)	540,056	前特定計画対象施設:-3.5m岸壁(改良)
本特定計画における便益対象施設の事業費		(千円)	402,000	本特定計画対象施設:-3.5m岸壁(改良)+北防波堤(改良)
按分率			42.7%	$39 / (38 + 39)$
海上移動に要する経費削減額(震災1回あたり)【本計画分】		(千円/震災1回)	17,130	37×40
防波堤	防波堤復旧単価	(千円/m)	14,287	前特定計画での事業費762,000千円/防波堤延長110.81m \times 1.4 \times H28デフレータ1.484
	防波堤延長	(m)	110.5	北防波堤(改良)
防波堤復旧費		(千円/震災1回)	1,578,714	42×43
岸壁	岸壁復旧単価	(千円/m)	11,866	前特定計画での事業費(S63:90991 \times 1.595(デフレータ)+H25:146098 \times 1.579+H26:40872 \times 1.510+H27:264175 \times 1.484)
	岸壁延長	(m)	90.0	-3.5m岸壁(改良)
岸壁復旧費		(千円/震災1回)	1,067,940	45×46
追加的に発生する復旧費の回避額(震災1回あたり)		(千円/震災1回)	2,646,654	$44 + 47$
震災1回あたりの便益額		(千円/震災1回)	2,670,843	$22 + 41 + 48$
年間総便益額		(千円/年)	$30,270 \times (74/75)^{t-1}$	$49 \times (1/75 - 1/500) \times (74/75)^{t-1}$ (t:施設供用後の経過年数)

(9) 避難・救助・災害対策効果
① 漁港整備による海難損失の回避

現在、当漁港は港内静穏度が悪く、地元漁船が岸壁から離して係留するため、三石漁港沖を操業している漁船(他港利用)の避難スペースがなく、安全が十分に確保できないために、船籍港や他港へ避難している状況である。外郭施設の整備により、安全避難水域が確保されるため、沖合が高波浪時においても、当漁港への避難が可能となり、海難による損失を回避することが可能になる。

区分		数量	備考		
避難漁船隻数	イカ釣り外来船	(隻)	① 1 1 5 調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査		
	春立漁港の漁船	(隻)			
	東静内・晃舞漁港の漁船	(隻)			
年間避難機会	イカ釣り外来船	(回/年)	② 4.31 8.2 8.2 漁期中(8月～12月)における苫小牧港沖・様似漁港沖波高計観測データ(平均)による荒天日数 漁期中(通年)における苫小牧港沖・様似漁港沖波高計観測データ(平均)による荒天日数 漁期中(通年)における苫小牧港沖・様似漁港沖波高計観測データ(平均)による荒天日数		
	春立漁港の漁船	(回/年)			
	東静内・晃舞漁港の漁船	(回/年)			
漁船損傷に伴う損失額	漁船建造費	(千円/トン)	③ 5,009 造船機統計調査(国土交通省)より		
	漁船トン数	イカ釣り外来船	(t)	④ 11.10 13.3 7.00 調査日：令和7年6月17日 調査対象者：ひだか漁業協同組合 三石支所 職員 新ひだか町 職員 調査実施者：浦河港湾事務所職員 調査実施方法：ヒアリング調査	
		春立漁港の漁船	(t)		
		東静内・晃舞漁港の漁船	(t)		
	漁船損傷に伴う損失額係数	(全損/全損)		⑤ 1.0 0.7 0.2 港湾投資の評価に関する解説書2011	
		(重損傷/全損)			
		(軽損傷/全損)			
	漁船損傷損失額	イカ釣り外来船	(全損)	(千円/隻)	⑥ 55,600 38,920 11,120 66,620 46,634 13,324 35,063 24,544 7,013 ③×④×⑤
			(重損傷)	(千円/隻)	
			(軽損傷)	(千円/隻)	
		春立漁港の漁船	(全損)	(千円/隻)	
			(重損傷)	(千円/隻)	
			(軽損傷)	(千円/隻)	
東静内・晃舞漁港の漁船		(全損)	(千円/隻)		
		(重損傷)	(千円/隻)		
		(軽損傷)	(千円/隻)		
漁業休業損失額	損傷修繕期間	(全損)	(日/隻)	⑦ 180 30 14 港湾投資の評価に関する解説書2011	
		(重損傷)	(日/隻)		
		(軽損傷)	(日/隻)		
	漁船休業損失額	(円/隻・日)	⑧ 35,998 令和5年漁業経営調査報告(農林水産省大臣官房統計部、令和7年3月) 個人経営体調査(漁船漁業3-20T対象)		
	漁業休業損失額	(全損)	(千円/隻)	⑨ 6,480 1,080 504 200 ⑦×⑧/1,000	
		(重損傷)	(千円/隻)		
(軽損傷)		(千円/隻)			
人的被害損失額	(全損)	(千円/隻)	⑩ 200 0 0 港湾投資の評価に関する解説書2011		
	(重損傷)	(千円/隻)			
	(軽損傷)	(千円/隻)			
避難漁船1隻当りの平均損失額	イカ釣り外来船	(全損)	(千円/隻)	⑪ 62,280 40,200 11,624 73,300 47,914 13,828 41,743 25,824 7,517 ⑥+⑨+⑩	
		(重損傷)	(千円/隻)		
		(軽損傷)	(千円/隻)		
	春立漁港の漁船	(全損)	(千円/隻)		
		(重損傷)	(千円/隻)		
		(軽損傷)	(千円/隻)		
	東静内・晃舞漁港の漁船	(全損)	(千円/隻)		
		(重損傷)	(千円/隻)		
		(軽損傷)	(千円/隻)		
海難損傷別発生比率	(全損)		⑫ 7.8% 15.8% 21.8% 港湾投資の評価に関する解説書2011		
	(重損傷)				
	(軽損傷)				
損失の回避	イカ釣り外来船	(全損)	(千円/年)	⑬ 20,938 27,377 10,922 46,879 62,074 24,723 133,496 167,280 67,199 ①×②×⑩×⑫	
		(重損傷)	(千円/年)		
		(軽損傷)	(千円/年)		
	春立漁港の漁船	(全損)	(千円/年)		
		(重損傷)	(千円/年)		
		(軽損傷)	(千円/年)		
	東静内・晃舞漁港の漁船	(全損)	(千円/年)		
		(重損傷)	(千円/年)		
		(軽損傷)	(千円/年)		
前特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑭ 167.0			
本特定計画における便益対象施設の整備延長	(m)	⑮ 195.0			
按分率		⑯ 53.9% ⑮/(⑭+⑮)			
年間便益額	(千円/年)	⑰ 302,319 ⑬の合計×⑯			

※端数処理のため各項目の和は必ずしも合計とはならない。